



田んぼの中でたくさんの生物見つけたよ



生き物と触れ合い「食」「農」の大切さ学ぶ

営農企画課・生活課

6月18日、JA全農あきたと共同で、能代市立第四小学校5年生児童87名を対象に、「田んぼの生き物調査」を実施しました。

これは食農教育の一環として田んぼに入り生き物と触れ合うなかで、農業（水田）のもつ環境保全に果たす役割について考えてもらおうと毎年開催しています。

児童らは植物・陸生・水生動物の3班に分かれ裸足で田んぼに入るなどし、多くの動植物を採取すると、携帯用ミニ図鑑と見比べながらヤゴやコガムシ、シロツメグサやヨモギなどの名前や特徴を調べていました。児童からは「夏休みの自由研究でもう少し詳しく調べたい」「身近な田んぼに、こんなに生物がいると思わなかった。」等といった感想が聞かれました。



何を捕まえたかな？

白神ねぎ収穫楽しみに大事に育てます！

経済課・生活課

能代市立浅内小学校の5年生の児童15名が、総合学習の授業で『白神ねぎ』づくりに挑戦しました。この活動は毎年5年生が担当し、定植から収穫まで行い、11月の学習発表会で保護者や地域の方々に販売する同校の名物行事となっています。

6月5日に行われた定植作業では、経済課・生活課職員の指導のもと、『白神ねぎ』を定植しました。児童たちは畝作りからはじめ肥料を散布後、「ひっぱり君」を使って一生懸命定植作業を行いました。児童からは「秋には太いねぎになるよう水やりして大事に育てます」といった感想が聞かれました。



迫力のエンジン音！恐る恐る頑張りました！！



とっても元気な竹っ子5、6年生9名と記念撮影

竹生小学校へペットボトルキャップ寄贈

女性部能代支部

女性部能代支部はエコライフ運動の重点取組の一つに位置付けるペットボトルキャップ回収運動で集まったペットボトルキャップを能代市立竹生小学校へ寄贈しました。45㍑袋いっぱいに入れたペットボトルキャップ10袋は今後リサイクル業者へ引き渡され換金されます。

贈呈式では児童が「閉校式典事業に活用させていただきます。ありがとうございました。」と元気にお礼のあいさつをしてくれました。加藤友久校長先生も「驚くほど大量のペットボトルキャップで得た収益金は、閉校式典事業で大事に使わせていただきます。」とあいさつ。

竹生小学校は今年度137年の歴史に惜しまれながら幕を閉じます。